

「岡山への旅となくなる物」

高校 1 年 D 組 石井雅博

はじめに

去る 2007 年 9 月頃、新聞を読んでいると、こんな記事が目に入った。それは、

「0 系、数年内に引退決定」

というものだった。おそらく、山陽新幹線で活躍している 0 系こだまが、500 系に置き換えられるため、廃止になるということだろう。特に、このときは、何の意味も示さなかった。だが、その 2 ヶ月後、こんな記事も新聞の 1 番最初の記事にあった。それは、なんと

「東京駅発 消えゆくブルトレ」

非常に悲しい記事だった。自分の愛する寝台特急が姿を消してしまうなんて……。去る今年の 3 月には、寝台急行「銀河」・寝台特急「なは・あかつき」がなくなった。「銀河」は、2005 年の 3 月と去年の 12 月に、「なは・あかつき」は、今年の 1 月に乗りに行った。しかし、「富士・はやぶさ」は、2009 年 3 月になくなるとの事だったが、まだ乗ったことがなかった。乗りに行くなら、今のうちに乗りに行ったほうがいいと思った。また、先ほど紹介した 0 系も今年の 11 月になくなる聞いた。そこで、今年の 6 月に土曜日に岡山のほうに出かけ、0 系を乗るか、撮影をするかしてから、「富士・はやぶさ」を使って、日曜日に帰ってくるというプランを作り上げ、実際に乗りに行ったのだが、後から思えば大変な旅行になってしまった。そんな僕が体験した旅を、写真や行程、俳句と一緒に紹介していこう。

1. いきなり・・・

品川	13:31～(東海道線)	普通	熱海行き)～14:20	平塚
平塚	14:28～(東海道線)	快速アクティー	熱海行き)～15:20(定刻は15:09)	熱海
熱海	15:57～(東海道新幹線)	こだま558号	東京行き)～16:05	小田原
小田原	16:09～(東海道新幹線)	ひかり419号	新大阪行き)～16:30	新大阪

13 時 31 分、品川から普通列車に乗って横浜に着いたとき、異様な光景を目にした。なんと、臨時特急である「アルファリゾート踊り子」が自分の乗っていた普通列車を待ち合わせていたのだ。また、大船でも特急「踊り子 117 号」も待ち合わせしていたのだ。実は、この日は東海道線が湯河原～熱海間で線路点検をしていたので、この 2 つの列車は停まっていたのである。その後、平塚から快速アクティーに乗り換えてから、最悪な事が起きた。なんと、熱海の手前の湯河原で 6 分ぐらい停車してしまった。「熱海駅のホームにすべての列車が停まっているため、ホームが空き次第、発車いたします。」この放送を聞いたときもショックだった。このままでは、自分が熱海から三島まで乗る 15:16 発の列車に間に合わなくなってしまう。実際に熱海に着いた時は、15 時 20 分。間に合わなかった。このまま、三島へ行こうとしても、三島を 15:48 発のひかり 337 号には間に合わない。しかも、ひかり 337 号は熱海に停まらない。心の中でちょっと泣いた。

その時、ある考えが浮かんだ。東京方面のこだま号を使って小田原で乗り換え、再び、新大阪行き
 のひかり号を使えば、新大阪から先は予定通りになるかもしれない。すぐに特急券を変更し、
 ホームへダッシュ。小田原での乗り換え時間が4分しかなかったが、熱海駅の駅員が、「7号車
 に乗ると大丈夫ですよ」と教えてくれた。親切な人だ。そして、小田原で乗り換え、ひかり419
 号に乗ることができた。ほっとした僕は、iPodを取り出して音楽を聞いていた。何の遅れもな
 く、列車は新大阪に到着した。

～遅れても ほかの列車を 使いけり～



300系 (JR 東海車)
 東海道新幹線 ひかり419号
 米原にて








683系
 北陸本線 特急しらさぎ号 (回送)
 米原にて

2. 期待はずれ・・・

新大阪	16:38～	(山陽新幹線	こだま669号	博多行き)	～18:03	岡山
岡山	18:33～	(吉備線	普通	総社行き)	～19:09	総社
総社	20:16～	(吉備線	普通	総社行き)	～20:54	岡山
岡山	00:48～	(東海道・山陽本線	寝台特急富士・はやぶさ号	東京行き)	～09:58	東京

新大阪に着いて、こだま669号のホームに上がる。0系の運用を期待したが、停まっていたの
 は100系だった。残念だったが、100系もそのうち無くなると思い、シャッターを切る。乗って
 からすぐに、列車は発車した。こだま号なので、終点まで各駅に停まっていく。岡山で下車し、
 駅弁「桃太郎の祭り寿司」とお土産を購入。時間潰しに何に乗ろうと思ったが、吉備線に乗るこ
 とにした。目的は乗り潰しである。実は宇野までの切符を買っていたのだが、0系こだまの新大
 阪行きが岡山に来るのは22時05分、宇野線に乗ると23時近くに岡山に到着となるので、吉備
 線に乗ることにした。切符はちゃんと目的地まで買おう。総社まで行ったが、伯備線や井原鉄道
 の車両が見えただけだった。そして、さっきの列車の折り返しで岡山に着いた。

～暇つぶし 列車に乗って 時間潰す～

		
<p>100系 山陽新幹線 こだま669号 新大阪にて</p>	<p>キハ47形 吉備線 普通列車 岡山にて</p>	<p>8000系 瀬戸大橋線 特急しおかぜ号 岡山にて</p>
		
<p>381系 伯備線 特急やくも号 総社にて</p>	<p>IRT355形 井原鉄道 総社にて</p>	<p>桃太郎の祭り寿司 吉備線の車内にて</p>

3. 待っていましたぞ

岡山に着いて、ホームをぶらぶらしているうちに、第1のターゲットである0系こだまの到着時間が近づいて来ることに気付き、急いで新幹線ホームへ上がる。列車は6両編成、停止位置を確認し、今か今かと待ち構える。ついに、ターゲットが来た。緑色とグレーの新塗装か、それとも青と白の原色か？来たのは・・・なんと、青と白の原色だった。つい嬉しさのあまり、

「キター——————ッ！」

と、思った。ちなみに、ここで0系について軽く説明しよう。

0系とは、1964年に東海道・山陽新幹線用車両として登場し、3216両が生産された（1編成16両として計算）。1965年の第8回鉄道友の会でブルーリボン賞を受賞した車両としても有名である。過去には、ビュッフェ車や食堂車が存在した。しかし、N700系が全「のぞみ」の運用に就くことになったり、東海道・山陽区間で活躍していた500系が山陽区間専用となったりと、今年の時点で0系は山陽区間専用となり、2ヵ月後の11月までには全車が廃車処分と決まった。今では、0系が多く見られるのは九州地方だろうか。0系が岡山・新大阪方面へ姿を見せてくれるのはあまり無い。今、自分が撮影している0系は新大阪へ向かう最後のこだまである。そのため、1分間の停車時間を利用して撮影した。また、中間には元ビュッフェ車のような車両が確認できた。0系が行ってしまってから、下のホームへ行って数々の車両を撮影したり、改札口近くのホールでちょうど放送していたドラマ「ハチワンダイバー」を見たりした。

～0系よ 俺の胸から 消えるなよ～

		
<p>0系 山陽新幹線 こだま674号 岡山にて</p>	<p>0系 行き先表示 岡山にて</p>	<p>0系 37形 こだま号 元ビューフェ車 岡山にて</p>
		
<p>115系 赤穂線 普通列車 岡山にて</p>	<p>285系(0番台+3000番台) サンライズ瀬戸・出雲号 岡山にて</p>	<p>103系 宇野線 普通列車 岡山にて</p>
		
<p>115系 伯備線 普通列車 岡山にて</p>	<p>213系 宇野線 普通列車 岡山にて</p>	<p>115系 山陽本線 普通列車 岡山にて</p>
		
<p>117系 山陽本線 普通列車 岡山にて</p>	<p>5000系 宇野線 快速マリンライナー号 岡山にて</p>	<p>223系 5000番台 宇野線 普通列車 岡山にて</p>

4. やっと、お前に会えた！

0:20分ごろ、第2のターゲットである寝台特急「富士・はやぶさ」号に乗りに行くために、6番ホームに下りる。と言っても、その前には貨物列車が何本も通過していて、さらに、接近放送は「♪♪～線路は続くよ どこまでも～♪♪」が流れ出す。緊張感が・・・無くなる・・・。ホームを歩いているうちに、今年の3月で廃止になった「なは・あかつき」号の乗り場案内のシールが残っていた。無くなってしまった列車を思うと心が痛くなった。やっと、0:46分にターゲット2号が到着した。牽引機はEF66形50号機、客車は14系15形。再び、「富士・はやぶさ」について説明しよう。

富士号は1912年6月に東海道本線・山陽本線の新橋～下関間に、日本発の特別急行列車として登場。当時、最後尾には1等展望車を連結していた。1914年に東京駅が開業し、東京始発・終着となり、1934年には丹那トンネル開通に伴い、3等車が連結された。1942年に関門トンネルが開通し、東京～長崎間に拡大。1965年10月の東海道新幹線開業に伴うダイヤ改正により、運行区間を日豊本線経由で西鹿児島駅まで延長、1980年10月1日のダイヤ改正に伴い、利用者の減少により、運行区間を宮崎駅までに短縮、その後1997年に大分まで短縮等、数々のダイヤ改正があり、2005年3月のダイヤ改正で、はやぶさ号と東京～門司間で併結運転することにした(はやぶさ号と連結していた寝台特急「さくら」が廃止になったためであるが、後述)。一方、はやぶさ号は、1958年に東京～鹿児島間の現在の運行経路(東海道線・山陽本線・鹿児島本線)で運転開始。1968年10月1日のダイヤ改正により、「はやぶさ」の博多駅にて増解結を行っていた編成を長崎駅まで延長し、西鹿児島駅発着編成とは鳥栖駅で分割併合を行うことになり、1976年には2段B寝台を投入し、1985年にはロビーカーを連結した。1999年に寝台特急「さくら」号と併結運転を行っていたが、2005年3月のダイヤ改正で、さくら号が廃止となり、現在に至る。なお、このダイヤ改正によって、ロビーカーの連結はしなくなった。しかし、富士号・はやぶさ号共に、2009年の3月のダイヤ改正で廃止になることが決ってしまった。寂しい。0:48分、「富士・はやぶさ」号は出発した。









～来年は このホームで見るもの 無くなって～

	
<p>富士号 案内板 (シール) 岡山にて</p>	<p>はやぶさ号 案内板 (シール) 岡山にて</p>
	
<p>なは・あかつき号 案内板 (シール) 岡山にて</p>	<p>EF66 形 50 号機 山陽本線 寝台特急「富士・はやぶさ」号 岡山にて</p>

5. こんな物が・・・

列車に乗って、自分の座席を確認。座席ははやぶさ号の車両で、10号車のB寝台の17番の下段だった。元々は、個室B寝台「ソロ」を頼もうとしていたが、あいにく買いに行った日は、売り切れ・・・だが、自分が座った座席は1番端にあり、向かいの寝台が無く、1人だけだった。まるで、個室にいるような気分で、最高だった。荷物を置いて、車内の探検に行った。洗面所に着くと、冷水機のような機械があった。近くには、紙コップも置いてあった。本当に水が出るのかと思い、ボタンを押すと・・・、本当に水が出できた。これはすごい。だから、俺も1杯。うーん、うまい。また、近くには水量計があった。これらは、ブルートレインが栄えていた国鉄時代からずっとあったらしい。この列車に乗って、東京～九州を渡っていた人にとっては、かけがえの無い思い出だったのだなあ、と俺は感じた。そんなことをしているうちに、列車は姫路駅で運転停車。それを潮に、自分の寝台に戻り、眠りについた。





～この列車 昔の思い出 乗せていた～

		
自分の座席 はやぶさ号の車内にて	洗面所 はやぶさ号の車内にて	冷水機と紙コップ はやぶさ号の車内にて
		
「ソロ」入り口 はやぶさ号の車内にて	「ソロ」車内 はやぶさ号の車内にて	姫路駅 駅名表 はやぶさ号の車窓から（運転停車中）
		
はやぶさ（テールマーク） はやぶさ号の車内にて	富士（テールマーク） 富士号の車内にて	

6. 列車での朝食はうまい！そして・・・

日曜日の朝、目を覚ますと、俺の腕時計は06:50を示していた。周りの乗客たちは、お互いに「おはよう」と挨拶をしている。まるで、一緒に東京へ向かっている大家族のようだ、と俺は感じた。車内販売がまだ来ないみたいなので、昨日の探検の続きを行った。富士号の車内に移り、歩いていくと、個室A寝台「シングルDX」を発見。こっちのほうが、昨日見ていた「ソロ」よりも豪華そうだった。しばらくすると、車内販売を始めるという放送があったので、自分の座席に戻って、来るのを待つことに。サンドウィッチ弁当やコーヒーを売っているという話を聞いて、それらを買うことにした。ついに、俺のところにもやって来た。まだ、在庫が残っていた。よかった！！値段は2つ合わせて、800円。値段にしてはまあまあだが、味は言葉に表せないほどうまい。さらに、右手に見える太平洋を見ながら、コーヒーを飲む。いい朝食だった。そんな事をしているうちに、列車は東京へと向かって走り、静岡、富士、沼津、熱海、横浜と停まっていく。熱海辺りからは、E231・E233系や211系等といった、見慣れた車両が見えてきた。そし

て、09時58分に終点の東京に着いた。ホームに降りると、たくさんの鉄道ファンが手にカメラを持って、撮影していた。俺も負けてはいられない。自分とはやぶさ号と一緒に撮影したり、ホームの上にある案内板を撮ったり、車両の1両1両を撮影したりと忙しかった。撮影しているうちに、思いがけないものに気付いた。なんと、「ソロ」の車両のボディがぼろぼろになっていたのだ。悲しすぎる。そして、EF66形50号機が客車の品川方に連結したのを見て、俺は東京駅を去っていった。今回の旅行は、最初は波乱だったものの何とか予定どおりの旅行になった。それに、なくなってしまう0系や寝台特急「富士・はやぶさ」号にも撮ることや乗ることができ、

		
富士号 方向幕 東京にて シングルDX (車内) 富士号の車内にて	15形2,000番台 ぼろぼろの「ソロ」 今回の旅行で使った切符 東京にて はやぶさ号の車内にて	EF66形+14系 寝台特急「富士・はやぶさ」号出込 朝食セット 東京にて はやぶさ号の車内にて
		
朝の太平洋 はやぶさ号の車窓から	EF66形50号機 東海道本線 寝台特急はやぶさ号 東京にて	14系15形 東海道本線 寝台特急はやぶさ号 東京にて
		
はやぶさ号 案内板 東京にて	富士号 案内板 東京にて	はやぶさ号 方向幕 東京にて

さぞ充実した旅だったと俺は思う。長くなりましたが、最後まで読んでいただきありがとうございました。

